

第2回西部まちぐらし共創サロン

函館西部地区の情報発信について

株式会社 はこだて西部まちづくRe-Design
代表取締役 北山 拓

自己紹介(北山 拓)

- (株)はこだて西部まちづくRe-Design 代表取締役
- 埼玉県出身、35歳
- 2016年(株)地域経済活性化支援機構入社後、長野県白馬村におけるスキー場ベースタウン活性化事業に従事。白馬村に常駐しながら、地域の皆様と一緒に取り組んできました。
- その他全国各地において「観光まちづくりを通じた地域活性化」をミッションに、地域の皆様と様々なプロジェクトに汗をかいて取り組んできました。
- 昨年8月、函館西部地区再整備事業の実行部隊として設立された(株)はこだて西部まちづくRe-Designを設立、代表取締役に就任。「居住と観光が融合したまちづくり」を目指し、日々取り組んでいます。
- 現在、函館在住。趣味はサッカーとサウナ、長男(1歳)と遊ぶことです。



(株)はこだて西部まちづくRe-Designについて

(株)はこだて西部まちづくRe-Design(はこだてせいぶまちづくりでざいん、通常HWeR/エイチウィーアール)は、

- **函館市西部地区の再整備事業を推進**していくために、
- 函館市、函館商工会議所及び地元企業8社と、政府系ファンドである「地域経済活性化支援機構」が運営する「観光遺産産業化ファンド」が出資して設立された、
- **函館市西部地区のまちづくりを主体となって進めていく会社**です。

ビジョン

函館西部地区から、未来を創る
(未来志向のまちづくり)

ミッション

- ① 函館西部地区での暮らしや営みを大切に、ここにしかない歴史や文化を活かしたまちづくりを推進します
(今の西部地区を活かした、不動産再整備・まちづくり事業の推進)
- ② 函館西部地区内外の人々との共創を通じ、地域課題を解決する事業に取り組み、未来に向けた新たなまちの価値をデザインします
(地元住民の方々と共に、地域課題を解決するための新規事業に挑戦)
- ③ 志ある人の想いに共感し、挑戦する機会を創出します
(地域の未来へ想いを持って挑戦する方をヒト・モノ・カネ・ノウハウの様々な面で支援)

- 函館西部地区エリア低未利用不動産の利活用事業と併せ、まちづくり支援事業、西部地区発信事業、地域若手起業支援事業といったソフト事業を合わせて行いながら、西部地区の魅力・価値向上を進め、面的活性化を推進してまいります。

はこだて西部まちづくRe-Design(HWeR)

エリア
不動産
利活用
事業

公有不動産再整備事業

旧北海道庁函館支庁庁舎の再整備を皮切りに、低未利用となっている行政財産、公有不動産等について地域のランドマークとなるような利活用に向けた、再整備を実施。

民有不動産再整備事業

物件所有者の高齢化等で承継ニーズが顕在化している、民有不動産(伝統的建造物及び景観指定建築物等)を収用し、地域のニーズに合わせた収益不動産への再整備を実施。

重点整備街区再整備事業

長屋、未接道敷地、所有権等の問題で再整備ができない用地を収用し、一体の再整備用地としての前裁き等を実施。

まちづくり支援事業

函館市が推進している、「共創のまちぐらしPJ」、「町会活性化PJ」等との連携による事業化、地域のニーズに合わせたまちづくり事業の事業化支援、クラウドファンディング等を活用したまちづくり支援など。

西部地区ブランディング・発信事業

西部地区のブランディング支援、観光・ワーケーション・移住/定住・地域コミュニティ活性化に向けたHPの作成、管理及びメディア作成等の広告・発信事業など。

地域若手起業支援事業

西部地区に定住し、生業を創りたいと考えている将来の担い手の起業支援、伴走支援など。

まち
づくり
事業

地域内外の皆様と連携させて頂きながら、「西部地区のまちづくり」を事業として進めています。

函館西部地区の情報発信について

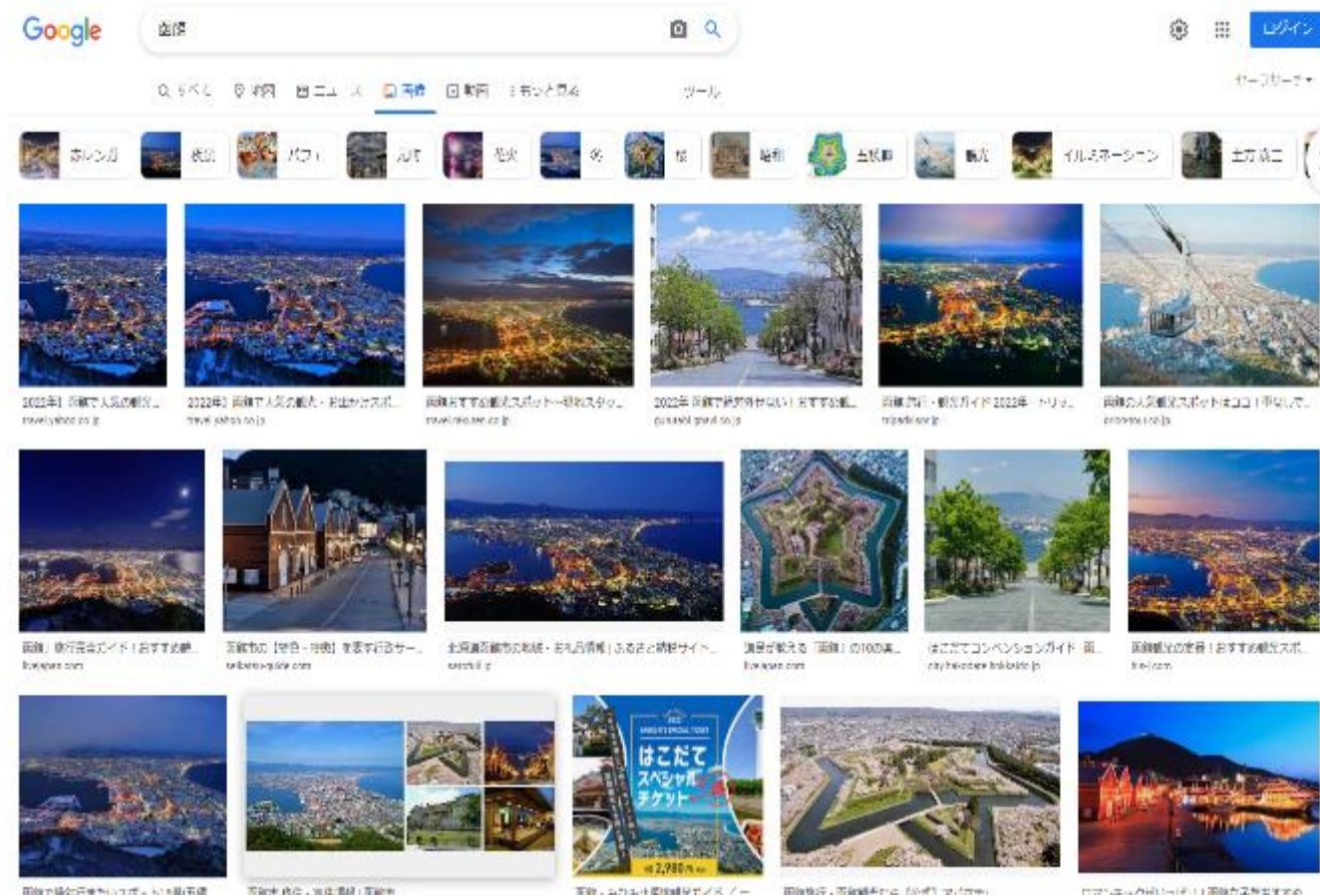
- まちづくり会社って、西部地区の土地を地上げして整備するんじゃないの？
- 何で情報発信なんてやろうとしてるの？

「函館」でGoogle画像検索をしてみると…



・夜景・八幡坂・五稜郭…(ほぼ夜景)

・人が映っている画像は、ほとんどなし…

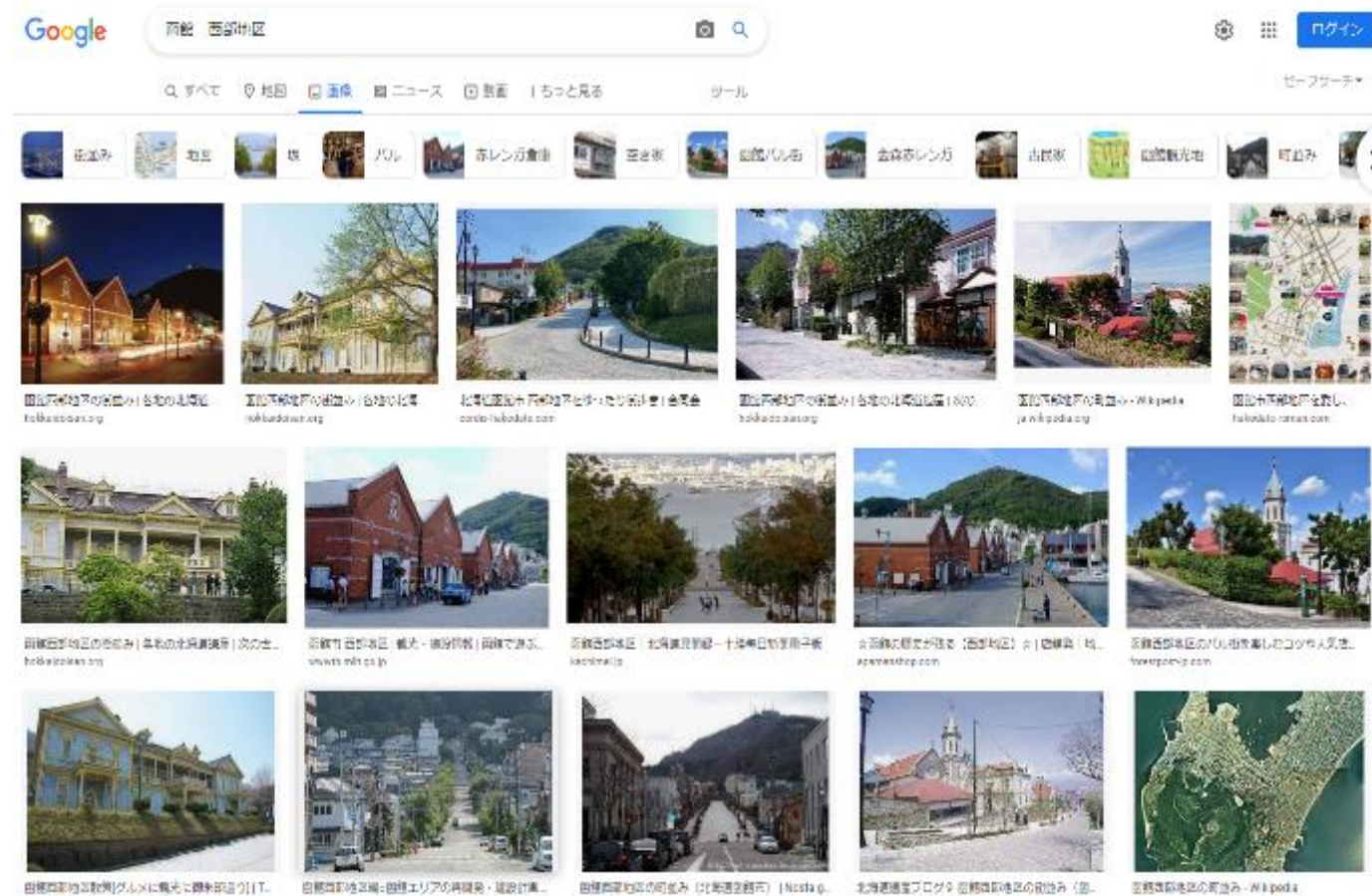


「函館西部地区」でGoogle画像検索をしてみると…



・赤レンガ倉庫・公会堂・八幡坂
(建物の画像が多い)

・こちらも人が映っている画像は、
ほとんどなし…



私が函館に住むと聞いて、「遊びに行く」と言ってくれた 東京の友人たちの声(来訪前)



※叱られるかもしれませんが、そのまま載せます。

- 夜景も良いんだけど、他に何かないの？
- 有名だから一回は行ってみたいんだけど、一回行くともういいかな・・・
- イカ取れないの？ イカの町じゃないの？
- 夜景見てホテルの朝飯食べて、飛行機で帰るわ
- 函館って人いないの？

私が函館に住むと聞いて、「遊びに行く」と言ってくれた 東京の友人たちの声(来訪後)



- ・谷地頭温泉最高じゃん！
- ・温泉の後の福々亭最高！食べたいもの多すぎて胃袋パンパン！時間足りない。
- ・身欠ニシンって食べたことなかったけど、めちゃくちゃ旨い！ほっけ超でかい！
- ・夜景より夕日の方が綺麗だったわ！
- ・函館楽しい！お前がいるからまた来たい！

私が本事業を進めるに当たって聞いた、 函館市民(西部地区外)から見た、函館西部地区の印象(一例)



※叱られるかもしれませんが、そのまま載せています。

- 観光客が行く所
- スーパーや病院が少ないし、坂は多いし、はっきり言って住むところじゃない
- デートや社会科見学でしか行ったことない
- 夜真っ暗で、人がいなくて怖い

問題意識と情報発信の方向性

- ・働き方、来訪スタイル、ライフスタイルの変化
「モノ消費→ヒト/コト消費」、「マスコンテンツ→ニッチ/ローカルコンテンツ」
「〇〇があるから行く」→「〇〇がいるから行く」へ
→まちの価値を上げる(=みらいを創る)ためには、適切なターゲット設定と情報発信が必須
- ・内と外の印象/価値観/イメージギャップの大きさ
→「函館」の内外だけでなく、「西部地区」の内外も
- ・このギャップは、地域では「弱み」として捉えられがち
→発信の仕方で、地域としての強み変えられないか？
- ・一般的な内→外の情報発信だけでなく、外→内や内→内の情報発信など、
内外の価値観を繋ぐ情報発信の仕方が必要

函館西部地区の情報発信の方向性①



【函館・西部地区の強み】

- ・夜景、坂、赤レンガ倉庫だけでなく、複層的で多様なローカルコンテンツ

(メインの観光資源が有名過ぎて埋もれている、ローカルコンテンツがたくさん)

(場所だけでなく、ヒト・コトにスポットを当てたローカルコンテンツも多い)

- ・先人の方々、地域の方々が培ってきたブランド力

(普通の地域であれば素通りされてしまう情報でも、「函館」のフィルターを通すことで0→1の壁を越えられる可能性がある)

→「函館」のブランド力を活かしながら、

「複層的で多様なローカルコンテンツ」に価値を感じる

新しいターゲットに対する情報発信をしていく必要があるのでは？

函館西部地区の情報発信の方向性②

【函館・西部地区の弱み】

- ・函館市民からの低いブランド力、マイナスイメージ
(住みにくい、行かない、観光客がくるところ)

- ・高齢化/人口減少/担い手不足
(自分たちだけでは手が回らない)

→エリア外にいる「西部地区ファン」の力も使いながら、
函館市民のファンを作っていく必要があるのではないか？

具体的な取組：HAKODATE×ARTIST



- ・ANAグループ及び地元事業者様とタッグを組み、函館西部地区の新しい発信の在り方として、「HAKODATE×ARTIST」を軸に、アーティスト向け滞在プログラムを設計。
- ・西部地区内で滞在・地元との交流イベント等を実施、各アーティストには函館西部地区における滞在風景、創作風景をSNSやHP等で発信
- ・「函館西部地区」をテーマに創作を行い、最終的には旧北海道庁函館支庁庁舎にて作品展示を実施
- ・アーティスト及びアートを軸に、新たな関係人口の掘り起こしを目指す取り組み
- ・9月中旬のアーティスト滞在、作品の展示は本年11月頃からを予定

<参加予定アーティスト>



宇田川 俊之
TOSHIYUKI UDAGAWA

1987年秋田県生まれ。2010年日本大学芸術学部写真学科卒業。
差別や行為に「ハ」での考察や違和するイメージやその意味から探る。
HP: <https://www.toshiyukitudagawa.com/>



黒川 隆介
RYUSUKE KUROKAWA

1985年東京都生まれ。
マガジンの編集「POPEYE」や「POPEYE Web」、musicbytesの編集人、都立駒込公園管理員、フリーランスのサウンドメイク「耳まじり」などで活動中。日々「人の心」にフォーカスしての「面白さ」、言葉の成り立ちにも興味がある。
自身の経験から社会の裏面をどうの探ろう。



近藤 さくら
SAKURA KONDO

1984年秋田県生まれ。2011年多摩美術大学造形芸術学部卒業。卒業制作は「さくら」をテーマに、見慣れた風景の中で忘れられている美しさや不思議なものを描き、それを素材として作品制作を行う。作品の形態は、印刷物を中心に、表紙、書籍、立体、インスタレーションなどが多岐に渡る。
HP: <https://sakurakondo.com>



寺本 愛
AI TERAMOTO

1998年東京都生まれ。2012年武蔵野美術大学芸術学部デザイン学科卒業。東京で出会った風景やその土地の文化に、自身の体験や記憶、フィクションを想い起こす作品を制作。ドローイングを中心とした制作のほか、広告・書籍等のイラストレーションや書籍と一体化したグラフィックワークも手がけている。
HP: <https://aiteramoto.com>

具体的な取組：函館西部地区ニュース



- 西部地区の情報発信を目的に本年5月より「函館西部地区ニュース」を当社Youtubeチャンネル内で開始。
- オフィスK様と協力の上、函館西部地区に住む、働く、訪れる「ヒト」にスポットを当てながら、毎週様々なテーマで西部地区で取り組みを行う方々の様子をインタビュー・ニュース形式で紹介しています。
- 毎週土曜20時配信ですので、皆様ご視聴・チャンネル登録宜しくお願い致します。

函館西部地区ニュース

毎週土曜日20時配信



函館西部地区のスポットな情報を様々な角度から発信する「函館西部地区ニュース」の放送を開始いたしました。

YouTubeチャンネル「藤本啓子のココロが『はこだて』でformell」で公開の動画を拡散しているアリアアランサー藤本啓子さんとは、函館西部地区まちづくりデザイン室の協力を得て、函館西部地区で活躍する「人」にフォーカスを図りながら、様々な活動やイベント、日々の風景等を発信しています。

本格的には毎週土曜日の午後8時に更新します。ぜひご視聴・チャンネル登録よろしくお願いたします。



<https://hwje.com/>

YouTube チャンネル登録、よろしくお願いたします。



最後に・・・



HwjeR は、

- 函館西部地区を創ってきた先人、そして今ここに暮らす人々 (“H”uman)の想いを大切にしながら、
- 函館西部地区内外の皆様と共に (“We”)
- この町の新たな未来を再び創っていく (“R”e-Design)

事を目指します。

未来志向の西部地区のまちづくりを、皆様と一緒に進めていければと思っております。
どうぞ宜しくお願い致します。